



平成21年度 桜川市決算報告

平成21年度の一般会計・特別会計および企業会計が、平成22年第3回桜川市議会定例会で承認されました。市政の中心、一般会計の歳入決算額が186億5,531万3,671円、歳出決算額が181億8,776万1,489円、その決算概要についてお知らせいたします。

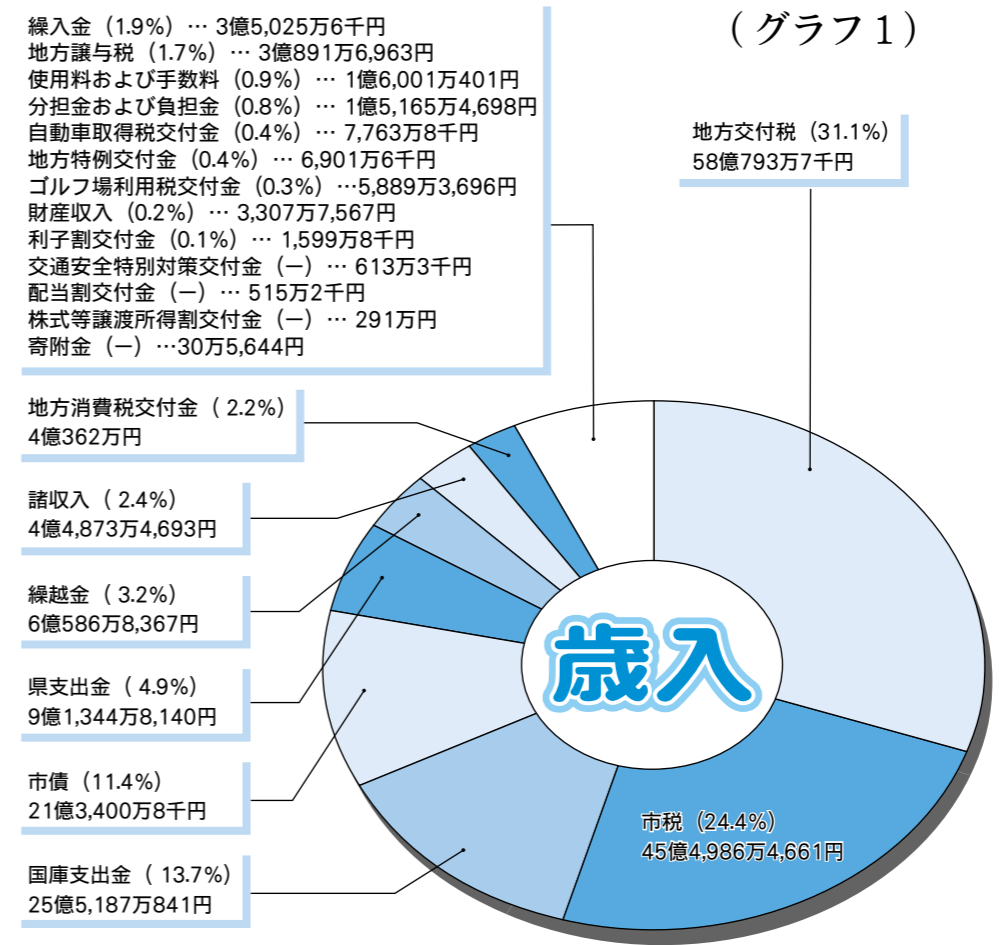
一般会計・歳入の内訳

186億5,531万3,671円

歳入は、市の財源として入ってくるお金です。その決算額は186億5,531万3,671円。グラフ1（下）は、その内訳を表したものです。

所得税・消費税などの国税の一部を国から交付された地方交付税が約31%を占めています。次いで、市民の皆さんに納めていただいた市民税などの市税が約24%。続いて定額給付金、生活支援や公共施設改修など特定事業に対する国から支出された国庫支出金が約14%となっています。以下、市債、県支出金、繰越金、諸収入、地方消費税交付金の順になっています。

(グラフ1)



一般会計・歳出の内訳

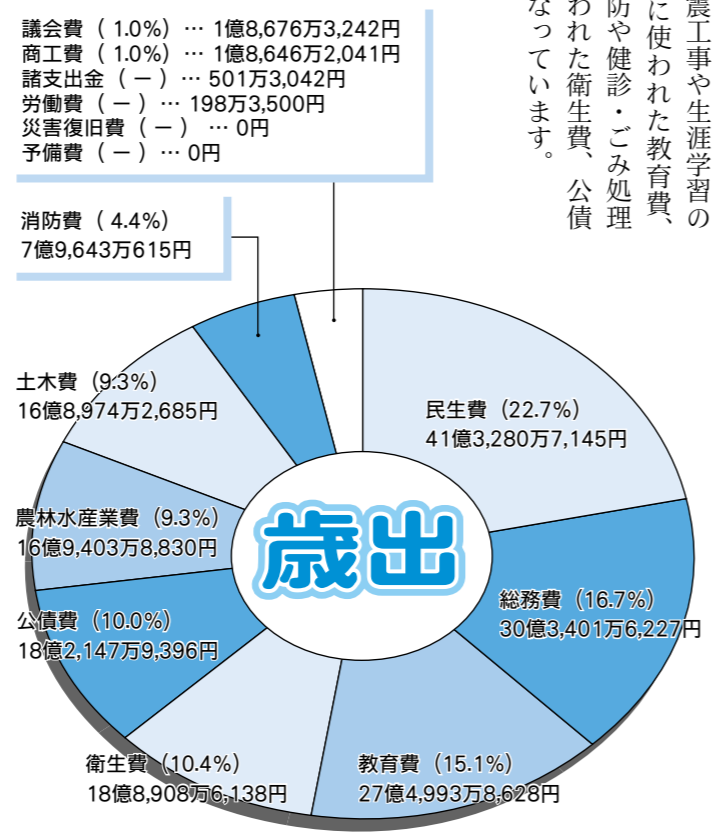
181億8,776万1,489円

歳出は、市民の皆さんのために使われるお金です。その決算額は181億8,776万1,489円。グラフ2（下）は、歳出を目的別に表したものです。

お年寄りや身体の不自由な方などのため使われた民生費が最も多く、次いで戸籍・戸舎管理や選挙経費、定額給付金などの総務費、続いて学校施設の維持補修や生涯学習振興などに

金などの総務費、続いて学校施設の耐震工事や生涯学習の振興などに使われた教育費、病気の予防や健診・ごみ処理などに使われた衛生費、公債費の順になっています。

(グラフ2)



納めていただいた市税 95,626円

市民税 43,334円

市たばこ税 5,537円

軽自動車税 1,682円

公債費 38,282円

農林水産業費 35,604円

土木費 35,514円

消防費 16,739円

議会費・商工労働などに

市民一人あたりでは

使われたお金 382,256円

民生費 86,860円

総務費 63,767円

教育費 57,796円

衛生費 39,703円

公債費 38,282円

農林水産業費 35,604円

土木費 35,514円

消防費 16,739円

議会費・商工労働などに

※一般会計歳出をもとに、平成22年3月末日現在の人口47,580人で算出しました。

水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的事業 水道料金による収入と、水を作ったり家庭に送ったりするための維持管理などを中心とした営業活動の収支	9億9,456万5,148円	10億3,927万3,820円
資本的事業 古くなった水道施設の改良や、新しい施設を造るために必要な資金の収支	2億8,234万9,900円	5億4,433万6,095円

歳入・歳出総額

区分	歳入	歳出	
一般会計	186億5,531万3,671円	181億8,776万1,489円	
特別会計	国民健康保険	60億5,506万6,583円	57億5,639万6,169円
	老人保健	2,886万9,399円	2,776万4,739円
	農業集落排水事業	4億1,099万7,733円	3億9,662万5,413円
	公共下水道事業	9億5,854万2,343円	9億4,916万9,484円
	介護保険	31億6,128万4,817円	30億4,264万6,739円
	介護サービス事業	714万1,105円	511万336円
後期高齢者医療	3億3,528万6,361円	3億3,480万8,874円	
合計	296億1,250万2,012円	287億28万3,243円	